

長畝ふるさと通信

【2015年8月号】

■ 鄙(ひな)の風祭り(夏のお祭り特集 第1弾)

8月13日、長畝集落の夏祭りが開催されました。昨年「鄙の風祭り」とし、今年が2回目となります。「鄙」とは都から離れた田舎、優雅な土地と言った意味があるそうで、お盆の時期に帰省客も一緒にふるさとの風を感じてもらおうイベントです。

まずは国の重要無形民俗文化財に指定されている「のろま人形」の上演。木之助・お花(写真)・仏師・下の長者の4体の人形が佐渡弁で愉快なお話を繰り広げます。



最後のオチはちょっと恥ずかしいですが、オシッコが客席にかかるのがミソです。

続いては新穂音頭保存会のみなさんによる「古踊新穂音頭」。当日はあいにくの雨模様でやむなく屋内での開催となりました。15人の踊り手が会場狭しと圧巻の舞。平均年齢はおそらく70歳近いであろうが、この躍動感はずばりです。そして締めは地元・長畝青年会の「鬼太鼓」。雨も上がって星空の下、酔っぱらった兄ちゃんたちの景気の良いかけ声とともに黒・白の鬼が舞を披露しました。懐かしい帰省客の顔も大勢あり、お嫁さんを連れてくる若者達も少なくありません。酔うほどに会場の輪がひとつになり、大盛り上がり。時間の経つのも忘れ、ふるさとの風を感じることができました。いつもならお尻に根が生えて帰らない諸先輩方はいつの間にか退散し、若者達が中心となりました。世代交代の風も吹いているようです。



■ アースセレブレーション(夏のお祭り特集 第2弾)

8月21日～23日、佐渡市小木で毎年開催された太鼓芸能集団「鼓童」による夏のフェスティバル「アースセレブレーション2015」を紹介します。このフェスティバルは1988年より毎年、この時期に開催され、「たたく」をテーマに世界各地のアーティストを招き、佐渡から世界へ「地球祝祭」の場を発信しています。普段は閑散とした小木の港は大勢の人々(とにかく外国人が目立つ)であふれかえります。広場に集まったフードコートにはたくさんの屋台が並び、その脇ではブラジルの民族楽器にあわせて美人さんが激しく踊り狂っています。



丘の上に設置されたコンサート会場の入り口には「アースセレブレーション(EC)」の大きな暖簾がはためいており、雰囲気盛り上げています。暖簾をくぐって、急な坂道を登ったその先には2,000人の観衆とステージが…開演を今か今かと待ちわびています。



残念ながらコンサートは撮影NGなので写真はありませんが、鼓童の太鼓の迫力と言ったら言葉では現せません。会場からは歓喜の叫びが止まず、ステージ脇では太鼓のリズムに合わせて踊り狂う連中が…ぜひ一度ご体験下さい。超おすすめです。夜空の星も素敵です。



稲刈り開始は9月2日からの予定です。お盆を過ぎた途端、朝夕冷え込むようになり、田んぼが黄金色に染まってきました。9月2日から酒米「五百万石」の刈り取りを開始する予定です。コシヒカリの刈り取りは9月中旬以降となります。新米出荷時期は通信9月号でお知らせ致します。台風が来ないことを祈りつつ、丁寧に刈り取り作業を進めて参ります。お楽しみに！

■ 稲刈り開始は9月2日からの予定です

お盆を過ぎた途端、朝夕冷え込むようになり、田んぼが黄金色に染まってきました。9月2日から酒米「五百万石」の刈り取りを開始する予定です。コシヒカリの刈り取りは9月中旬以降となります。新米出荷時期は通信9月号でお知らせ致します。

台風が来ないことを祈りつつ、丁寧に刈り取り作業を進めて参ります。お楽しみに！

